

# エデンの東 (East of Eden)

観賞日 2024年7月8日 上映時間 115分

## 【概要】

制作 1955年 アメリカ

監督 エリア・カザン

脚本 ポール・オズボーン

原作 ジョン・スタインベック『怒りの葡萄』

音楽 レナード・ローゼンマン

撮影 テッド・マッコード

出演 ジェームズ・ディーン (キール)、ジュリー・ハリス (アブラ)

レイモンド・マッセイ (アダム・トラスク)、ジョー・ヴァン・フリート (ケート)



## 【あらすじ】

1917年カリフォルニア州北部の田舎町サリナス。当地のレタス農家トラスク家の双子の息子アーロンとキール。キールは父親のアダムが兄のアーロンばかりを愛して自分を嫌っていると感じていた。アダムは敬虔なクリスチャンで厳格な性格。母親はそれを嫌って家を出てしまっていた。兄アーロンにはアブラという恋人がいたが、アブラもまた親に愛されなかったという経験を持っていた。ある日、キールは父親から死んだと聞かされていた母親が実は生きているということを知り隣町のモンテレーに会いに行く。アダムはレタスを大消費地のニューヨークに鉄道を使って大量に運ぶ冷凍技術を編み出し試みるが運悪く失敗して大損を出す。キールは父親を救うため母親のケートを説得して資金を借り大豆相場で大儲けをする。アダムの誕生日。アーロンはアブラとの婚約を発表し父親を喜ばせる。キールは儲けたカネをアダムにプレゼントするがアダムは戦争を利用して儲けたカネなど受取れないと拒否をする。落ち込んだキールはアーロンを強引に母親のもとに連れて行く。母親の生存に驚いたアーロンは自暴自棄になり急遽、出征を志願する。そして、そのことを知ったアダムはショックのあまり脳卒中で倒れる。余命いくばくもないアダムの看病に訪れたキールの耳元でアダムがつぶやいたことは・・・。

彗星のように現れて去った伝説の青春スター、ジェームズ・ディーンの世界デビュー作。

## 【解説】

### ■ポイント

#### ●原作エデンの東と聖書

原作は旧約聖書創世記のアダムとイブの子供、カインとアベル兄弟の確執をモチーフに父親の愛を切望する息子の姿を描いたジョン・スタインベックの小説

#### ●当時（1917年頃）の状況

- ・欧州では第1次世界大戦（英仏 VS 独が中心）が激化
- ・ロシアでは参戦中に革命が勃発
- ・アメリカも4月に参戦が決定し、若者は戦場に駆り出される。
- ・日本も日英同盟を口実にアジアのドイツ支配地を占領

#### ●受賞（1956年第28回アカデミー賞）

4部門にノミネートされ、助演女優賞を受賞（ジョー・ヴァン・フリート）

### ■見どころ

- 親子の確執と和解。ラストシーンは泣かせる名シーン。
- レナード・ローゼンマン作曲のテーマ曲
- CMにも使われた列車から飛び降りるJ・ディーン